



2024年3月29日

各位

会社名株式会社 A i m i n g
代表者名代表取締役社長 椎葉 忠志
(コード番号: 3911 東証グロース)
問合せ先取締役 経営管理部 田村 紀貴
ディビジョンディレクター
(E-mail: ir@aiming-inc.com)

当社取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

当社は、「取締役会評価に関する規程」に基づき、2023年12月期を評価対象期間として取締役会評価を行いましたので、その評価結果の概要を下記の通りお知らせいたします。

記

1. 評価の方法

当社の取締役及び監査役全員に対し、取締役会に関するアンケートを実施し、全員から回答を得ました。得られた回答をもとに当社取締役会において、評価結果の分析及び今後の課題について議論いたしました。

対象者: 在籍取締役5名 監査役3名 計8名

実施時期: 2024年2月

質問内容: 第1. 取締役会の構成に関する質問 6項目
第2. 取締役会の運営に関する質問 9項目
第3. 取締役会の議題に関する質問 13項目
第4. 取締役会を支える体制に関する質問 7項目

回答方法: 各項目3段階又は4段階評価及びコメント(理由・改善すべき点)を記載

2. 評価結果の概要

(1) 取締役会の構成に関して

取締役会は、多彩な知識・経験・能力を有した取締役、社内外取締役及び監

査役の8名で構成されており、適切であるという評価結果となりました。一方で、女性役員の登用、社外取締役の兼任状況及び社外取締役の在任期間の長期化に関しては、検討すべきとの意見がありました。

(2) 取締役会の運営に関して

取締役会の開催頻度、会議資料、審議時間及び自由に意見交換ができる環境等、運営に関しては適切であるという評価結果となりました。一方で、一部の資料の配布時期に関しては更に改善の余地がある等の意見がありました。

(3) 取締役会の議題に関して

議題の選定や審議時間、役員報酬についての協議、コンプライアンス、財務報告に係る内部統制に関しては、適切に審議されているという評価となりました。一方で、選任・解任及び中期経営計画についての議論に関しては、昨年よりやや低下し概ね改善の余地があるとの評価結果となりました。また、昨年深い議論をすべきとの意見があった代表取締役の後継者計画、中期経営計画に関しては、引き続き検討すべき等の意見がありました。

(4) 取締役会を支える体制に関する質問

議題の情報提供の機会確保や外部専門家の活用、内部監査との連携等、取締役会を円滑に運営する体制に関しては、適切に整備されているという評価結果となりました。一方で、取締役、監査役に適合したトレーニングや役割と責務を十分に理解する機会の確保については、昨年よりやや低下し概ね適切になされているという評価結果となりました。

上記35項目に対する回答結果として、肯定的な回答は約98%、否定的な回答は約2%であり、当社の取締役会は適切に運営、機能しており、取締役会全体の実効性は確保されていると判断しました。

3. 今後の取り組み

当社取締役会は、取締役会評価において認識された課題について、さらなる実効性向上のために必要な取り組みを実施し、改善に努めてまいります。

なお、取締役会の実効性評価につきましては、今後、継続的に実施し、評価の枠組みや評価手法の更なる改善に向けても検討を進めてまいります。

以 上